江戸の紙

東京の紙

2023年3月18日（土）
→ 5月14日（日）

公益財団法人 紙の博物館
〒114-0002 東京都北区王子1-1-3（飛鳥山公園内）
TEL (03) 3916-2320　FAX (03) 5907-7511
https://papermuseum.jp/

江戸の紙・東京の紙

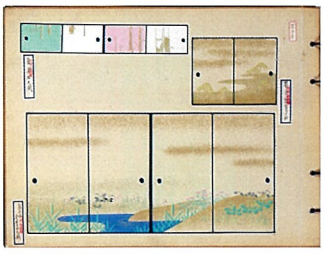
2023年3月18日（土）～5月14日（日）

【会期中の休館日】　月曜日、3/22(水)、5/2(火)

紙が一般にも広く普及し、需要が増大した江戸時代以降、東京は紙の一大消費地であっただけでなく、紙づくりや加工も盛んに行われていました。明治期になると、機械による製紙が東京で始まり、近代製紙産業が発展します。

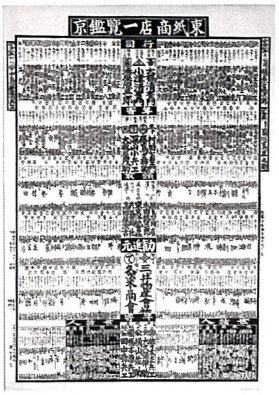
浅草・千住などでつくられ、鼻紙などとして用いられた「浅草紙」や、現在も保存会によって受け継がれる「檀紙（だんし）」。近世に町人の家の襖などに用いられるようになった「江戸唐紙（からかみ）」、文明開化の象徴ともなった洋館の壁を彩った「金唐革紙（きんからかわし）」、当時の世相や流行、風光明媚な景色や名所などを描いた「東錦絵（あずまにしきえ）」や、四季の花々や様々な意匠を凝らした「江戸千代紙」などの彩色豊かな加工紙。張子や姉様人形、凧など目にも楽しい玩具など、江戸・東京で生み出された多様な紙文化をお楽しみください。

大日本物産図会 東京錦絵製造之図
明治10年(1877)



襖紙見本帳　昭和初期～30年(1955)頃

王子製紙会社略図　明治10年(1877)



東京紙商店一覧鑑　明治22年(1889)

江戸唐紙形
嘉永元年(1848)

千代紙帖
明治20年～大正時代(1887～1925)頃

【期間中のイベント】 お申し込み方法や費用など、詳細はホームページをご覧ください

◆ **浮世絵手摺り実演・体験会**　5月3日（水・祝）13：30～15：30
協力：沼辺木版

◆ **江戸唐紙実演・体験会**　5月4日（木・祝）13：30～15：30
協力：唐源

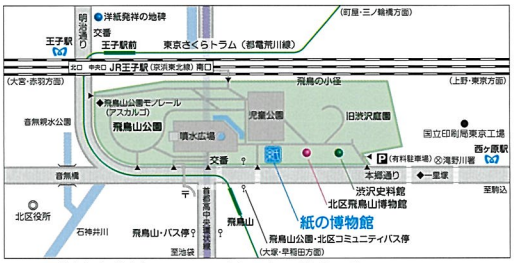
◆ **紙で楽しむこどもの日**　5月5日（金・祝）13：30～14：00
講師：紙の博物館スタッフ

◆紙すき教室

日時：毎週土・日曜日
1回目　13：00～
2回目　13：50～
当日10時から整理券を配布します
定員：各回20名
費用：無料（入館料別）

公益財団法人
紙の博物館
〒114-0002 東京都北区王子1丁目1番3号
TEL (03) 3916-2320　FAX (03) 5907-7511
https://papermuseum.jp/
PAPER MUSEUM

［開館時間］　10:00～17:00(最終入館16:30)
［休 館 日］　月曜日[祝日は開館]、祝日直後の平日、年末年始、臨時休館日
［入 館 料］　一般400円(320円)/小中高200円(160円)
※(　)内は、20名以上の団体料金
＊身体障がい者手帳、愛の手帳(療育手帳)または精神障がい者福祉手帳をお持ちのご本人は無料、介助の方は半額となります。



・ＪＲ京浜東北線　王子駅（南口）　徒歩5分
・東京メトロ南北線　西ヶ原駅　徒歩7分
・東京さくらトラム（都電荒川線）　飛鳥山停留場　徒歩3分
・都営バス（王40甲・王55・草64系統）　飛鳥山停留所　徒歩4分
・北区コミュニティバス　飛鳥山公園停留所　徒歩3分

抄紙会社 設立150年

明治６年（1873）、渋沢栄一の提唱で洋紙をつくる「抄紙会社」が設立されました。工場が建設された東京・王子は「洋紙発祥の地」と呼ばれています。

今後開催予定の企画展・ミニ展示

紙博のあゆみ	紙のおもちゃ	抄紙会社150年 ―洋紙発祥の地・王子
5月30日(火)～7月2日(日)	7月15日(土)～8月27日(日)	9月16日(土)～12月17日(日)
ミニ展示	企画展	企画展